

2020年6月19日

各 位

## 英国蓄電池ファンドへの出資について

当社（社長：大田 勝幸）は、大型蓄電システム事業への投資を行う Gore Street Energy Storage Fund plc（以下、「ゴア・ストリート社」）に出資することを決定しましたので、お知らせいたします。

ゴア・ストリート社は、大型蓄電システム事業を手掛けるロンドン証券取引所上場のファンドであり、蓄電池事業分野の大規模プロジェクトにおける調達、ストラクチャリング、管理についての豊富な経験と専門知識と多くの実績を有しています。同社の事業ポートフォリオは、イングランドおよびウェールズにおいて合計29.0MWの蓄電池プロジェクトが稼働しているほか、2021年には北アイルランドおよびアイルランド共和国にて合計160.0MWの蓄電池プロジェクトが開始される予定です。

当社は、メガソーラー（18カ所、約4.6万kW）や風力（2カ所、約0.4万kW）といった再生可能エネルギー発電事業を全国で展開しており、発電容量を2022年度までに約100万kWまで拡大することを目指しています。

しかしながら、太陽光発電や風力発電など、再生可能エネルギーは天候により発電量変動するため、火力発電などと比較して、電力の需要と供給をバランスさせることが難しいとされています。こうした電力需給のバランスを維持する際、瞬時の電力需給の変化に対応可能な蓄電システムの導入・活用が有効であることから、当社は、蓄電システムや自家発電機などのエネルギーリソースを制御するバーチャルパワープラント（VPP）事業の実証に取り組んでいます。

欧州では、電力需給バランス調整に関する市場が成立しており、蓄電池を活用し収益化するビジネスが実現されています。本出資により、電力需給のバランス維持に関わる市場取引や蓄電システム運用についての知見の早期取得を図り、今後、同様な市場の成立が予定される日本国内での蓄電システムを活用したVPP事業の展開および関連する新規事業の早期創出を目指してまいります。

当社は今後も、低炭素・循環型社会の実現に向けて、エネルギーサービスプラットフォームの構築に積極的に取り組んでまいります。



## とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<ゴア・ストリート社概要>

|       |  |
|-------|--|
| 名称    | Gore Street Energy Storage Fund plc  |
| 事業内容  | 蓄電システム事業への投資   |
| 株式公開日 | 2018年5月25日   |
| 代表者   | Patrick Cox, Chairman  |
| 純資産総額 | £47million*  |
| 上場先   | ロンドン証券取引所 (Main Market)  |
| 地域別電源 | イングランドおよびウェールズ : 29.0MW (2020年5月時点)<br>北アイルランド : 100.0MW (2021年運開予定)<br>アイルランド共和国 : 60.0MW (2021年運開予定) |

※ 2019年12月末時点

以上

**JXTGは、社名もENEOSへ!**

※2020年6月25日開催の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。



とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**